

2012年は、12年分を1年でやるという、密度の濃いライトワークをすることができた、重要な1年となりました。それは、魂からの願いを気愛と全開でやることで、本番の本番(=12月)のために、今までのすべてを、今この瞬間にどれだけ統合し発揮できるか、というアセンション=意識の進化、のプロセスでした。

ライトワーク(=実働=行動)を通して体験することで、意識が進化していくのを感じ、それは、宇宙の科学&叡智である「愛」を学ぶこと、たとえどんな状況に置かれようとも愛を選択する「意志」を貫くこと、ライトワーカー(=仲間)と家族のような「絆」で、共に学び合うことでした。

そして、「今から、ここから、わたしから」、この地球と宇宙を、どれだけ大きく、強く、優しい愛で、包み込めるか、ライトワーカーとして、自分の人格・心格を成長させる実践でもありました。

2012年を通して、最も大切な学びであったこと。それは、「一番大切なものとは？」という、探求のプロセスに在りました。

はじめは様々なことが思い浮かび、どれも大切なことに思えていましたが、だんだん分かっていったのは、共にライトワークする仲間への感謝、仲間と協働(コラボ)した時に感じた、分かち愛、支え愛、仲間それぞれの特長が活かされ、仲間と共に学びと気づきがあること、等に助けられたことでした。

それは、家族のような信頼感に育まれていき、一体感と成り、まるで家族のようなライトワーカーの絆が、如何に大切なものであるか気づかされました。自分の中で、「ライトワーカーとの家族のような絆」が、一番大切なものになっていきました。

初心にかえると、自らの使命とは、アセンション・ライトワーカーとして、地球と宇宙のためにライトワークすることでしたが、それはひとりではどうしようもないものであり、仲間のライトワーカーと共に、一丸となって、ひとつとなって、笑いあり、涙あり、分かち合い、支え合い、成し遂げられることと、気づきました。

そうして迎えた12月、2012年の集大成として、同時にこれまでのすべてを中今に全開にしたのは、12月24日のエネルギーワークでした。ここで感じたことは、これからの新しい地球、新しい始まりのスタートでした。ようやく始まりのスタートに立てた気持ちになりました。

それは、大勢のライトワーカーと共に、家族のような絆で、ひとつとなってやってきたからこそ、辿り着けたのだと思います。仲間との絆に、心から感謝しています。